



Aortic arch calcification evaluated on chest X-ray is a strong independent predictor of cardiovascular events in chronic hemodialysis patients

著者名	井上 朋子
発行年	2014-03-14
URL	http://hdl.handle.net/10470/30638

主論文の要旨

Aortic arch calcification evaluated on chest X-ray is a strong independent predictor of cardiovascular events in chronic hemodialysis patients (胸部 X 線で評価した大動脈弓石灰化は、慢性血液透析患者における心血管系イベント発症の独立した予測因子である)

東京女子医科大学大学院
内科系専攻内科学(第四)分野
(指導：新田孝作教授)

井上 朋子

Heart Vessels 雑誌 第 27 巻 135 頁～142 頁 (平成 23 年 3 月 18 日発行) に掲載

【要旨】

心血管疾患は透析患者における死因の第一位であり、血管石灰化は心血管疾患の発症に関与していることが知られている。新たな心血管イベントの発症のリスクを予測するために、胸部 X 線で評価した大動脈弓の石灰化(aortic arch calcification; AoAC) の grade 分類の有効性を評価した。対象は心血管疾患の既往がない 197 人の維持 HD 患者で、胸部 X 線を用いて、AoAC の grade を 4 つに分類し、4 年の観察期間における心血管イベント発症との関連性を調査した。69±45 ヶ月の追跡期間において、89 人で心血管イベントを発症した。AoAC の grade による心血管イベントの発生率は、年齢、透析歴、高血圧症などの関連予測因子で補正しても、grade0-1 の患者よりも grade2-3 の患者において有意に高く、多変量のコックス比例ハザード分析においては、AoAC の grade 分類が心血管イベント発症における重要な予測因子であった(HR; p=0.0351)。AoAC の客観性に関しては、3D-CT との有意な相関を認めることで確認している。胸部 X 線は、すべての HD 患者で心胸郭比の評価目的で撮影され、経過観察も容易である。今回の検討により、胸部単純 X 線における AoAC の grade を評価することで、HD 患者における新規の心血管イベントを予測できると考え

られた。